

スケート場、南小グラウンドに開設

小学校全校へ司書配置

議会特別委員会
寄名
名予

大学新棟建設費は12～13億円

【名寄】名寄市議会予算審査特別委員会（大石健二委員長）は、23日午前10時から教育費などで審議を行った。東川孝義委員（市政クラブ・新緑風会）は、市営スケートリンク管理運営で管理棟建設工事について質問。高島啓博生涯学習課主幹は「平成28年度からは南小学校グラウンドにスケートリンクを開設。管理棟の建物はプレハブを予定し、実施設計が終わってすぐ建設工事に入りたい。着工は新校舎の外構工事が終わってからとなるが、冬までに間に合わせたい」と見通しを示した。

（中村）

東川委員は、市立大学のコミュニティケア教育研究センター運営で人員配置や運営方法について質問。同センターは道北地域研究所と地域交流センターを統合し4月に開設するもので、丸箸啓一大学教務課長は「センター長をトップに事務職1人を配置。事業企画運営組織で教員が集まってもらい具体的な事業を練る。また、学内企画と学外企画を連携さ

せるための企画連携会議を設置。さらにセンター連絡協議会を設け、自治体や保健、医療、福祉関係機関と連携。事業の外部評価を行う諮問会議も設置する」と説明。

山崎真由美委員（市民連合・凜風会）は、東京五輪の合宿受け入れに向けた「ポストタウン」に名寄市が指定されたことを受け、体育施設整備の方向性を質問。倉澤宏生涯学習

課長は「予算や指定管理料の範囲内で、現行の施設を有効活用したい。改築や増築は多額の費用を要するため、第2次総合計画との整合性を図りたい。名寄では何ができるのか、どのような施設が必要かだが、ポストタウンに指定されると助成金や補助金も活用でき、情報収集しながら検討したい」と答えた。

不登校児童の学校復帰を図る適応指導教室

山田典幸委員（市政クラブ・新緑風会）は、学校図書館司書の配置効果を質問。河合信二学校教育課長は「27年度に先行して小学校3校（名寄、西、風連中央）に配置。掲示物がきれいになったり、図書館だよりや新刊案内を発行するなど成果が表れていると聞いており、28年度からは全小学校に配置する。27年度は1日4時間だったが、28年度から5時間となり、中休みと昼休み、放課後にわたり配置できる」と答え、将来は中学校への配置も検討するとした。

熊合吉正委員（市民連合・凜風会）は、教員住宅の現状や今後、ニーズを質問。河合学校教育課長は「名寄地区は62戸のうち61戸、風連地区は30戸のうち24戸入居。新たな建設計画はないが、修繕しながら現有維持を図る。家賃が手ごろなこともあり、若年層教員のニーズが増えている」と答えた。

市立大学保健福祉学部の再編に伴う新棟建設で実施設計委託料が計上されていることを踏まえ、建設費見込みを質問。松島佳寿夫大

連合・凜風会）は、南小学校の旧校舎解体工事や安全対策で質問。河合学校教育課長は、解体工事は5月以降に入札を実施。安全対策では新校舎完成で通路が変わるため、外壁を立てるなど児童の安全に配慮することを説明。

佐久間誠委員（市民

億2684万円となっており、倉澤生涯学習課長は「保守業務の委託料で700万円ほど増加。7月から備品使用料がかかるが、28年度は130万円ほどの収入を見込んでいる」と答えた。

その後、一般会計をはじめ、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、食肉センター、下水道、個別排水の各特別会計、企業会計の水道事業会計を「原案通り可決すべきもの」として決定した。

基本設計の最終まとめ

